

【はじめに】

地域の発展に尽くした先人として雨宮敬次郎氏を取り上げ、敬次郎氏の功績に着目し、中央本線の開通に至るまでの経過や人々の生活に目を向けることにより、先人の働きや苦心を考えるようにするとともに、地域社会のよりよい発展を考えることができるようにすることをねらいとして本実践にとりくんだ。「地域資料の発掘や収集，資料の効果的な提示や活用」は、小学校中学年の社会科授業実践における課題の一つといえる。

実践にあたっては、「各種の資料から必要な情報を集めて読み取ったりしたことを的確に記録し、比較・関連付け・総合しながら再構成する学習や考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことによりお互いの考えを深めていく学習の充実を図る」ことに留意した。具体的な手立てとして、「リーフレット」の作成，事実を根拠として考える活動を授業の中に位置付けた。

【実践の内容】

第4学年社会科学習活動報告

指導者 堀井 ますみ

1 単元名 「昔から今へと続くまちづくり」～鉄道が通った～（12時間）

2 単元の目標

地域の人々の生活について、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を調査して調べ、地域の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えることができるようにする。

3 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象について の 知識・理解
①地域の人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて関心を持ち、それを意欲的に調べている。 ②地域の発展を願ってきた人々の生き方に関心を持ち、地域社会のよりよい発展を考えようとしている。	①地域の発展に尽くした先人の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ②地域の人々の願いや生活の向上と、先人の働きや苦心などを関連付けて考え適切に表現している。	①資料や具体的事例を活用して、地域の発展に尽くした先人の働きについて必要な情報を集め、読み取っている。 ②調べたことを年表や白地図、作品などにまとめている。	①地域の発展に尽くした先人の働きを理解している。 ②地域の人々の生活の変化や向上が、人々の願いや努力、先人の働きや苦心によるものであることを理解している。

4 単元について

本単元は、小学校学習指導要領社会，第3学年及び第4学年の目標（2）「地域の地理的環境，人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。」に基づいて設定した。内容（5）「地域の人々の生活について、次のことを見学，調査したり年表にまとめたりして調べ，人々の生

活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。」のウ「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」として雨宮敬次郎氏を取り上げ、雨宮敬次郎氏の功績に着目し、中央本線の開通に至るまでの経過や人々の生活の変化に目を向けさせていく。

本単元は、地域の発展に尽くした先人の働きを調べることを通して、地域の人々の生活の変化や向上が、人々の願い、努力や先人の働き、苦心によるものであることを理解できるようにするとともに、地域社会の発展を願ってきた人々の生き方に関心をもてるようにすることや、地域社会のよりよい発展を考えることができるようにすることをねらいとしている。

児童は、3学年の社会科「さぐってみよう昔の暮らし」の単元において、地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事、および古くから残る暮らしにかかわる道具とそれらを使っていた頃の暮らしの様子について調べ、人々の生活の変化について考える学習を行ってきた。しかし、地域の人々の生活の変化の背景には、先人の思いや願い、努力があったという認識にはまだ至っていない。そこで、本単元では、児童が先人の働きと地域の人々の生活の向上とを関連づけて考えることができる事例として、雨宮敬次郎氏の功績と中央本線の開通、その後のまちの移り変わりについて取り上げる。先人たちが工夫と努力によって困難を克服して工事を完成に導いた様子を中心に展開していくことで、先人の苦心や知恵のすばらしさに目を向けさせたい。特に奥野田地区の出身の実業家である雨宮敬次郎氏は、3学年の社会科「わたしたちのまち調べ」の単元で生家を訪れていることもあり、児童にとっては比較的身近な存在といえる。自分たちの地域を教材として扱うことで、地域社会に対する誇りと愛情を育てていきたい。

また、資料や具体的事例を活用して、地域の発展に尽くした先人の働きについて必要な情報を集め、集めた情報を比較したり、関連付けたり、総合しながら再構成するためにリーフレットの作成を行う。リーフレットは、「雨宮敬次郎さんはどんな人だろうか」「雨宮敬次郎さんはどのような働きをしたのだろうか」「雨宮敬次郎さんはどんな思いをもっていたのだろうか」「中央本線開通にはどのような苦労があったのだろうか」「中央本線が塩山を通ったわけ」「中央本線開通後の暮らし」「学習感想」の7つの項目で構成する。リーフレットの作りを通し、学習内容のまとめ、定着を図り、評価に生かしたい。

5 児童の実態（男子13人 女子18人 計31人）

本学級の児童は、学習に真面目に取り組むことができる。個別の支援が必要な児童が6名いるが、協力して活動したり楽しんだりすることができるようになってきている。

4月に実施した標準学力検査（NRT）の結果からは、社会科の偏差値平均が47.2と全国の水準と比べてやや低い傾向が見られた。また、得点の散らばりの程度を示す標準偏差値は、14.2と統計的にみて、得点の分布が広がっていることが分かった。この結果を受け、学力の散らばりが大きいことに留意しながら、社会科学学習の指導にあつたっている。

また、事前のアンケート調査（29人に実施）からは、社会科の学習で楽しいこととして、地図帳の活用を13人が、社会科見学を16人の児童があげている。このことから、本学級の児童が、体験的に学ぶことを好んでいることが分かる。雨宮敬次郎氏については、知っている18人が、知らない11人が回答した。知っている18人の児童の具体的な記述は以下の通りである。

トンネルを作った人 (1) 鉄道を作った人 (3) 線路を作った人 (3) 雨敬橋の人 (2)
 鉄道を山梨に通らせた人 (1) 名前は知っているが何をした人かは知らない (1)
 トンネルを作る計画をして、作る指導をした人 (1) 家が奥野田地区にある人 (1)
 電車を山まで走らせる方法を考えた人 (1) 牛奥のぶどう園に住んでいた (1)
 鉄道を作って下さいとお願いした人 若尾逸平も何かした (1)

3年生の学習に登場した人物ではあるが、忘れてしまった児童もおり、雨宮敬次郎氏の働きも詳しくは理解していないことが分かった。

6 単元の指導

(発) = 発言・発表 (行) = 行動観察 (ノ) = ノート・作品 (テ) = テスト

赤字・赤枠内は、実際の学習活動と、活動から見られた児童の顕著な姿

時	題 材	学習のねらい	学習活動	評価規準・方法
1	オリエンテーシ ョン	地域の発展に尽 くした雨宮敬次 郎氏への関心を 高める。	○学習問題、学習計画を 考える。 ※児童から出された「調 べたいこと・もっと知 りたいこと」から学習 問題の設定をした。	【思①】 地域の発展に尽くした 先人の働きについて、学 習問題や予想、学習計画 を考え表現している。 (発)
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>学習問題 雨宮敬次郎さんはどんな人なのだろう。また、どのような働きをした人なのだろうか。 敬次郎さんの働きによりどんなよいことがあったのか調べよう。</p> </div>				
2	雨宮敬次郎さん について知ろう	地域の発展に尽 くした先人につ いて知ることが できるようにす る。	○映像資料を視聴し、雨 宮敬次郎氏がどのよ うな人であったか、ど のような働きをした 人なのかを調べる。 (※2011年NHK放送 金曜山梨「雨宮敬次郎 没後100年 公益公共に 生きた人」) ○学習感想・リーフレッ トの2項目への記入 をする。	【観①】 資料を活用して、雨宮敬 次郎氏について必要な 情報を集め、読み取って いる。(ワ)

2時間目終了後の学習感想では、理由の記述は様々ではあったが、敬次郎氏に対し、「やさしい人」「すごい人」という思いを記した児童が8割いた。普段授業にあまり意欲的にとりくめない児童の学習感想に「雨敬さんはすごくいい人だと思いました。山梨のためにこんなにがんばってくれたなんてすごいです。雨敬さんみたいなあきらめない心がすごいです。ぼくもあきらめない人になりたいです。」という記述が見られた。映像資料提示の効果を感じた。

3	塩山の昔と今を比べよう	昔と今の塩山のまちの様子について話し合い、昔のまちの様子や人々のくらしに関心をもつことができるようにする。	<p>※2時間目の学習感想</p> <p>「明治時代は、こんなに明るくて楽しい山梨県ではなかったと思った」から本時のめあてを「中央線ができる前の塩山の人ほどくらしをしていたか知ろう」を設定した。</p> <p>○昔の塩山の写真と今の塩山の写真を比べて、気付いたことを話し合う。</p> <p>○まち並みや道路、商店や車など、違いを見つけて昔の生活を想像する。</p>	<p>【関①】</p> <p>地域の人々の生活やまちの様子の変化に関心を持ち、意欲的に調べようとしている。(発)(ワ)</p>
4	塩山からほかのまちへ	中央本線が開通する前は、どのようなくらしをしていたのか、どんな願いをもっていたのか考えることができるようにする。	<p>○塩山のまちは、養蚕が盛んだったことを知る。</p> <p>○中央本線が開通していないころ、人々の生活はどうだったのかを考え、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街道や宿場について知る。 ・甲州街道を使って荷物を運んでいたことを知る。 <p>○人々は生活に対してどのような願いをもっていたのか考える。</p>	<p>【思②】</p> <p>地域の人々の願いや生活の向上と、先人の働きや苦心などを関連付けて考え適切に表現している。(発)(ワ)</p>
5 ・ 6 ・ 7	中央本線の開通と地いきの発展	中央本線の開通によって、塩山のまちや人々のくらしはどのように変わっていったのかを調べ、ま	<p>○ゲストティーチャー（市役所文化財担当の方）を招き、中央本線開通前後のまちの様子や生活のちがいについて説明を聞き、</p>	<p>【観①】</p> <p>資料を活用して、まちの変化について必要な情報を集め、読み取っている。(発)(ワ)</p>

	中央本線の開通と地いきの発展	とめることができるようにする。	まとめる。	
<p>明治39年43年の新聞記事と明治24年，明治45年，現在の地図を使って，具体的な数字の確認や地図に色を塗りながら比較する活動を主として学習が進められた。児童にとって具体的な数字の提示や活動を伴う学習，ゲストティーチャーの楽しい語りは，学習意欲の喚起，事象把握という点で効果的であった。</p>				
8	中央線が開通するまで	中央本線の路線が地形や人々の願いから決まったことを理解する。	<p>○雨宮敬次郎氏は，どんな人なのか，「わたしたちの甲州市」で再確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲州市出身の実業家 ・塩山に鉄道を通してもらえるよう呼びかけた。 <p>○中央本線の路線が，どのような経過で決められていったのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形や人々の願いを知った雨宮敬次郎氏が政府に働きかけたことにより決まったことをまとめる。 	<p>【観①】 資料や具体的事例を活用して，地域の発展に尽くした先人の働きについて必要な情報を集め，読み取っている。(発)(ワ)</p> <p>【知①】 地域の発展に尽くした先人の働きを理解している。(発)(ワ)</p>
9	たいへんだったトンネル工事	中央本線のトンネル工事について調べ，当時建設工事が難しかったことを理解することができるようにする。	<p>○中央本線の工事の苦労や工夫を資料や写真から調べる。</p> <p>○東京から塩山間のトンネルの数などから，大変な工事だったことをまとめる。</p> <p>○リーフレットの「中央本線開通にはどのような苦労があったのだろうか」「中央本線が塩山を通ったわけ」の2項目を記入する。</p>	<p>【関②】 地域の発展を願ってきた人々の生き方に関心をもち，地域社会のよりよい発展を考えようとしている。(行)(ワ)</p>

10 本 時	中央本線の開通 と地いきの発展	中央本線の開通 によって、塩山の まちや人々のく らしはどのよう に変わっていつ たのか調べて分 かった事実を根 拠として、人々の 生活について考 えることができ るようにする。	○中央本線が開通する 前のまちの様子や生 活などについての調 べて分かった事実を 基に、開通前後の変 化を「よくなったと ころ」「悪くなったと ころ」の視点でまと める。	【思②】 地域の人々の生活の今 と昔を比較し、違いや変 化、人々の生活の知恵を 考え適切に表現してい る。(発)(ワ)
11 ・ 12	中央本線の発展 と、まちの近代 化	中央本線が整備 されていく様子 を調べ、塩山のま ちの近代化と関 わっていること を理解すること ができるように する。	○中央本線が電化・複線 化へと整備されてい く様子を調べる。 ○駅舎の建て替えなど の様子を調べ、まちの 近代化についてまと める。	【知②】 地域の人々の生活の変 化や向上が、人々の願 いや努力、先人の働きや苦 心によるものであること を理解している。(発) (ワ)
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>学習問題のまとめ</p> <p>雨宮敬次郎さんは人々の願いを聞き、塩山の発展を願い、中央本線の開通に努力した。 それにより、まちには人や商店が増え、人々のくらしは便利になった。</p> </div>				
			○リーフレットの「中央 本線開通後のくらし」 「学習感想」の2項目 を記入し学習のまと めをする。	

単元終了後に、単元末評価テスト（1時間）を行った。

7 本時の学習

- (1) 日時 平成28年2月3日（水） 5校時（14:00～14:45）
- (2) 場所 奥野田小学校 4年生教室
- (3) 題材 中央本線の開通と地域の発展
- (4) 目標 中央本線の開通によって、塩山のまちや人々のくらしはどのように変わっていったのか調べて分かった事実を根拠として、人々の生活について考えることができる。
- (5) 評価規準 地域の人々の生活の今と昔を比較し、違いや変化、人々の生活の知恵を考え適切に表現している。【思②】

(6) 本時の展開

展 開	学習活動・内容	指導上の留意点（・）と評価（★）
つ か む 10 分	<p>1 学習問題, 今日の学習のめあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習問題 中央本線の開通によって, 塩山のまちや人々のくらしのよくなったところ, 悪くなったところについて考えよう。</p> </div>	<p>・みんなでつくった学習問題の3つ目の解決をしていくことを確認する。</p>
	<p>2 これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの話から分かった「中央本線開通前と開通後のちがい」について確認する。 ※開通後, 塩山駅の周りに家が増えた。 ※開通後, 塩山駅の周りの人口が増えた。 ※開通後, 塩山駅は峡東地区の中心になった。 ※開通後, 塩山駅の周りに人が集まるようになった。 ※開通後, 塩山駅の周りに道が増えた。 ※開通後, 奥野田地区には雨敬通りと雨敬橋ができています。 ※開通後, 荷物をたくさん, 早く運べるようになった。 ※開通後, 人が楽にいどうできるようになった。 	<p>・まちの様子や人々の生活の変化を押さえる。</p>
自 力 解 決 10 分	<p>3 中央線の開通によって, 塩山のまちや人々のくらしのよくなったところ, 悪くなったところについて自分の考えをワークシートに記入する。</p>	<p>・開通前と開通後にある変化に基づいて, 考えられるようにする。</p> <p>・一つの事例を挙げ, 全体で考え方を確認してから自力解決に入るようにする。</p>
集 団 解 決 15 分	<p>4 考えを交流し, 中央線の開通によって, 塩山のまちや人々のくらしのよくなったところ, 悪くなったところについてまとめる。</p>	<p>・友達の見解を聞いて, よいと思った意見はワークシートに書き加えさせる。</p> <p>★【思②】 地域の人々の生活の今と昔を比較し, 違いや変化, 人々の生活の知恵を考え, 適切に表現している。(発)(ワ)</p>

振り 返り 10 分	5 今日のまとめをする。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ</p> <p>中央本線の開通によって、まちにはたくさんの人や商店がふえ、ものを運ぶのも移動するのもとても便利になった。</p> </div>	
	6 本時の学習感想を書く。	・友達の意見を聞いて、自分はどう思い、どう考えたのかを書けるようにする。

(7) 評価の具体

【地域の人々の生活の今と昔を比較し、違いや変化、人々の生活の知恵を考え、適切に表現している。】

Aの姿	評価規準を実現した姿	Cの児童への手立て
<p>○開通前と開通後にある変化に基づいて、「塩山のまちや人々のくらしのよくなったところ、悪くなったところ」を根拠や理由をはっきりさせワークシートに記入することができる。</p> <p>○友達の考えを聞き、自分の考えを再考したことを学習感想に書くことができる。</p>	<p>○開通前と開通後にある変化に基づいて、「塩山のまちや人々のくらしのよくなったところ、悪くなったところ」を考え、ワークシートに記入することができる。</p>	<p>○全体で一つの事実に基づく考え方を示したり、友達の考えを紹介したりして自分の考えをもつ手がかりとなるようにする。</p>

(8) 本時に使用したワークシートと本時に関わるリーフレットへの記入（児童A）

めあて
中央線の開通によって、塩山のまちや人びとのくらしの「よくなったところ」「悪くなったところ」について考えよう！

新発見のお話から分かった

開通前と開通後のちがいを	よくなったところ	悪くなったところ
中央線開通後 塩山駅の周りに店がふえた！	・いづかが便利。 ・お店がはんじょうする。	・が田がへる、くわがへる。 ・が気、関車のけまりが人や農作物に悪い。
中央線開通後 塩山駅の周りの人口がふえた！	・いろいろな人と出会える。	・まいごになる。
中央線開通後 塩山駅の周りに人が集まるようになった！	・歩きやすくなった。 ・荷物が楽に運べる	・道建物がふえ、が田がへる。 ・が田がこんでなかなか入れなくなる。 ・木がはらさいされた。
中央線開通後 塩山駅の周りに店がふえた！		
中央線開通後 塩山駅は岐阜地区の中心になった！		
中央線開通後 たくさん人の荷物を運くことができるようになった！		
中央線開通後 人も速くいこうできるようになった！		
中央線開通後 美野田地区には市販酒りと市販揚げができた！		

【学習感想】友達の意見を聞いて自分が考えていなかったことを言って、よくなったところと悪くなったところがたくさん考えられてよかったです。今度の授業では今日よりたくさん考えて意見をいいたいです。

まとめ
中央本線の開通によって、ものを運んだり、いこうしたりするの**めづり**になった。

学習感想 友達の意見を聞いて、自分が考えていなかったことを言えてよくなったところと悪くなったところがたくさん考えられてよかったです。今度の授業では今日よりたくさん考えて意見をいいたいです。

中央本線開通前と開通後のちがいを

開通後は駅周辺に住宅がふえた。

開通後は駅の周りに店が集まり大賑わいになった。

道がふえた。

開通後はたくさん人の荷物を運べるようになった。

開通後は人も速くいこうできるようになった。

開通後は駅の周りに人が集まるようになった。

↓ だから…こんなよいことがありました！

- ・ お店がはんじょうする。
- ・ いろいろな人と出会える。
- ・ 歩きやすくなった。
- ・ いづかが便利になった。
- ・ 荷物が楽にはこべるようになった。

(9) 板書計画



8 単元終了後の評価テストから

発展として「これからの塩山について考えます。塩山をさらにすみよいまちにするためには、どことなくふうやとりくみがひつようだと思いますか、あなたの考えを書きましょう」という問いを設定した。

私が考えるすみよいまちとは

子どもからお年よりまで安全に安心して、
かいてきにくらせるまちです。
だから、
自動車と歩行者と自転車のそれぞれの専用道路
をつくるくふうや、塩山温泉の熱を利用して
ゆかがあたたかい多目的せつを作る取り
組みが必要になります。

自動車と歩行者と自転車のそれぞれの専用道路をつくと、
それぞれが安全に通ることができるようになります。
道のはしを広くしなければいけなくなりまわりの
店や家のとちを買わなければいけなくなることは
わるいことです。
塩山温泉の熱をつかいあたたかいゆかの多目的せつをつ
ると、冬でもあたたかくたれもが使えるのはよいことですが、
温泉の熱をゆかに送る機械をつくるお金がかかること
や、温泉がなくなったらそのせつのゆかが冷たいゆかになってしまうこと
はわるいことです。

【児童Aの記入】

児童Aの考えるすみよいまちとは…

すみよいまちにするための具体的なとりくみについての記入。

本時の授業を活かした視点。「よくなる」と「わるくなる」ところについての記入。

【まとめ—成果と課題】

(1) 統一授業研究会 討議内容より

- ・「つかむ」で前時の学習を振り返りにおいて、児童からの意見があまりでてこなかった。項目立てが難しく、文字情報が多すぎたのではないかと。児童が字面に追われる印象があった。前時のゲストティーチャーの話から分かったことを自由に書かせて、書いた内容を「塩山のまちや人々のくらしのよくなったところ、悪くなったところ」に分類していく方法もあった。
- ・「自力解決」に入る前に、一つの事例を挙げ、全体で考え方を確認したのは効果的であった。自力解決の途中で、書いている児童の内容を紹介するなどのヒントがあってもよかったので

はないか。

- ・事実から本時のように絞り出すということも大切だと思う。
- ・「集団解決の場面」で、書くことと意見を聞くことが混在していた。「書く」「聞く」を区分させることが必要。そのためには、例えば、「聞く」ことに集中させ、最後に「友達の意見の中でいいと思うものを一つ書きなさい」という指示を出す方法もある。
- ・「鉄道ができたから、人口もふえた」といった事実と事実を結びつけて考えさせようとする指導者の意図が感じられた。このような学習の継続が必要になる。
- ・「集団解決」の場面で、児童の意見の「同じことだけど少し違う」ところを大切にしていける必要がある。本時の中にも、児童の意見のつながりが見られる場面があったのはよかった。
- ・言語活動をコーディネートしていく時に、友達の意見に対し自分の意見が「同じ」「似ている」「違う」という観点で発表を整理していくことが、友達の意見を聞くことにもつながりとても大切になる。指導過程で「似ている」の児童の判断に疑問を感じた他の児童が「え？」という言葉をもらしていたが、友達の意見をよく聞いていたという点では評価できるが、さらに「え？」のつぶやきを言葉で説明させることにより、児童の言語活動が更に豊かになる。
- ・「振り返り」の今日のまとめを教師が行ったが、児童が考えられると更によい。
- ・学習感想の書き出しを教師が示したのはよかった。意図をもって学習感想を書かせることが、学習内容の再構築にもつながっていく。本時は、「友達の意見を聞いて…」から書き始めさせたが、「改めて考えると…」や「今まで考えたのと違って…」や「私なら…」などの書き出しも考えられる。
- ・主体的認識として「自分だったらどうするか」が最終目標になる。本時までの学習感想の中にも、自分に返せる感想を児童が書いているのはよい。
- ・指導案検討の過程で、最初は「紙芝居」の作成を通して、集めた情報を比較したり、関連付けたり、統合しながら再構成することをねらっていたが、グループ活動よりもより個の児童に返るという点を重視し「リーフレット」にまとめることにした。その選択はとてもよかった。
- ・授業の中で行われていた児童への細かい評価がよかった。日頃、学び合いができていることが感じられる授業だった。
- ・掲示物など具体的な準備されていた。
- ・学習感想を児童の「事実認識」「事象間の関係把握」「社会的認識の深まり」という視点で見えていくことにより、児童の実態把握、授業づくり、学習評価に効果的に生かせる。

(2) 部会の研究の柱との関わりから

- ・社会的事象を児童にどう提示するかに関わり、本単元では、学習内容に適した「視聴覚教材」をさがすこと、「ゲストティーチャー」を招くという2点において工夫をしたが、どちらも効果的であったといえる。
- ・児童の事実認識や事象間の関係把握、事象のもつ社会的意味の考察を進めることをねらいとして本時の授業を行った。教師の支援という点では、研究会の中で出された具体的な手立ての工夫を更にしていく必要がある。
- ・学習評価は、本時まで「発言」「ワークシート」「学習感想」から行ってきた。学習感想を、児童の「事実認識」「事象間の関係把握」「社会的認識の深まり」という視点で見てくことで、児童の実態把握、授業づくり、学習評価に効果的に生かしていきたい。